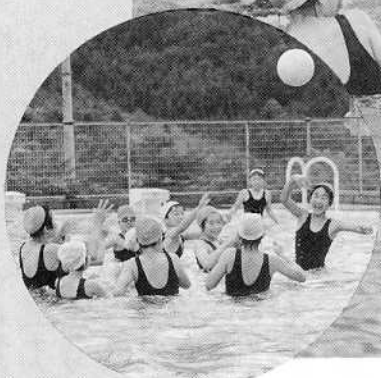




高学年（5・6年生）は、水中バスケットボール



## 夏宣言！プール開き

「今年の梅雨もうつとおしいねえ」と会話しているみなさん、もう夏は来ています。「えっ？どこにかつて」小学校のプールにです。

6月24日、小学校でプール開きが行われました。この日の水温は25℃。ちよつぱり冷たそうですが、子どもたちには関係なし。

約一年ぶりの水の感触を確かめるように所狭しと大ハシヤギでした。



プールの前はシャワーで消毒

# 広報

# ひがし しらかわ

1993  
平成5年

7

No.386

- 発行／東白川村
  - 編集／企画財政課
- 岐阜県加茂郡東白川村神戸  
〒509-13 ☎05747(8)3111
- 印刷／下呂印刷株式会社

### 人口の動き

—6月末住民登録人口から—

世帯数	905世帯
人口	3,439人
転入	7人
転出	0人
出生	0人
死亡	2人

先月と比較して5人増  
 昨年と同月と比較して  
 16人減



# 消防団の火を消すな

昭和二十二年発足以来、県下でも高い実績と伝統が評価を受けている東白川村消防団。

来年四月からは、これまでの一分団、三分団が廃され、定数百五十人の一本化となります。この背景には、団員のサラリーマン化や、若者の「消防離れ」等が、切実な課題として挙げられます。

今月は、地域防災のかなめとなる消防団のみなさんにお集まりいただき、こうした課題を踏まえ、今後の消防団のあり方について話しあっていただきました。

## 大きく変わった

### 消防団活動

**司会** 本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。本日はお集まりいただきましたのは、来年度から消防団一本化という一大転換期を迎えられるにあたり、広報を通じて住民の皆さんに現在の活動や、団の抱える問題点をお話しいただき、今後の消防団のあり方を考えてみたいと思います。

最初に現在の活動内容について簡単にお聞かせ下さい。

**安江(美)** まず、団員数については現在、定数百七十名ですが、欠員があり実団員数は百六十六名です。

次に団としての主な活動ですが、春には新入団員の教養訓練、新幹部の実技講習と春季訓練を行います。また五月中旬に行う操法大会に向けての訓練を四月

## 団員不足は、

### 切実な課題

**司会** 以前と比べると団員の出勤回数もずいぶん改善されてきているようですが、昔の消防団のイメージが特に入団前の若い人にとっては先行しているように思いますが。

**中島** 確かに昔の訓練は大変でした。しかし現在、勤め先の状況を考えても出勤回数を増やすことは困難でしょうし、訓練など回数が多ければ一概に成果が上がるとはいえません。また、若者の減少を考慮し、一本化後は、定数を百五十人にしていきます。

**司会** 消防に限らず若い世代が少ないことは大きな問題のようです。実際若い人は、消防団をどのように考えているのでしょうか。自分の経験談や、消防に入っている若い世代から聞いた話などお聞かせ下さい。

**古田(雅)** 自分が入ったところは、「大人になれば当然」という考えがあり、勧誘を受けた時はよかったです。しかし今の若い人に話を聞くと訓練が厳しいのやいややといった話が多いようです。

**古田(節)** 操法に関していえば、実際以前と比べて日数的にはか



座談会のもよう

なり減ってきています。しかし短期集中になったこともあり、一回の訓練は確かに大変かもしれませんが、今後はもっとと操法を行う側に立って考えていかなければならないでしょう。

安江(祐) 各家庭で父親が消防団のころのイメージが強いことは事実だと思います。消防団が常に住民のみなさんに理解してもらえないような行動目標を持つことが大切ではないでしょうか。

高井 私事ですが、三十一年前、白川の実家が全焼したことがあります。当時は道路から二五〇ほど入らなければならぬ所でしたが、消

### 座談会出席者

- 中島 潮巳さん 消防団長(平)
  - 安江 美好さん 副団長(中谷)
  - 安江 祐策さん // (大明神)
  - 高井 三郎さん 訓練部長(黒測)
  - 古田 節也さん ポンプ部長(柏本)
  - 荻田 和博さん 予防部長(平)
  - 村雲 知巳さん 第一分団長(西洞)
  - 安江 章吉さん 第三分団長(日向)
  - 今井 孝司さん ラッパ隊長(中通)
  - 小池 毅さん 本部分団長(大沢)
  - 田口 正昭さん 第一分団(平)
  - 古田 雅彦さん // (平)
  - 稲垣 進さん 第三分団(陰地)
  - 安江 秀利さん // (大明神)
  - 鈴木 礼二さん ラッパ隊(陰地)
  - 今井 義尚さん 本部長(平)
  - 司会 嶋倉企画財政課長
- ※文中は敬称略

防団の方がいち早く駆け付けて下さり、全員が無事でまわりにも迷惑をかけずに済みました。今でも子ども心に強烈な印象として残り、消防にはひと一倍思入れがあります。

稲垣 実際、消防団の活動は非常時にでもならない限り本当の意味で理解してもらいにくいと思います。

今年、分団で操法の係をやりましたが、若い人の考え方が

変わってきたことは事実です。これは仕事や遊びの多様化が大きき原因ではないでしょうか。

村雲 問題といえば勧誘も悩みの一つです。まず、役場からもらう名簿と実際村にいる人が違うことです。例えば住民票だけ村に置いて実際は村外にいる場合がある。そのため全部まった時点で落ちがあったり、朝早く仕事に出て夜遅い人には会えなかつたりしたこともありました。また、勧誘に行った先で昔消防団に在籍した人の家であっても「息子はちよつと」といったことなどもありました。入った人の話には、「想像とイメージがかなり違う」ということが多いようですが。

安江(章) 三分団ではこれまで退団する人が勧誘に行っているんですが、今年度から新幹部がまわりました。中には「あのポンプは雰囲気が良いと聞くからあのポンプなら」といった条件付きのケースもあつたようです。

古田(節) 勧誘に行った時のことを考えると消防に理解のある地域では比較的すんなり入ってくるケースが多いように感じました。理解が薄い地域では、勧誘も難しく、また中途退団も

### 若者たちはこう考える

広報では、座談会に先立って18歳から23歳までの若者5人に消防団に対する印象を聞いてみました。意見をまとめると次のとおりです。

- ・いつも練習があり、内容がきついと聞いている。
- ・40歳近くまで従事することはあまりにも長いと思います。
- ・夜間の火災などは大変だと思う。
- ・上下関係が厳しいと聞いている。
- ・もし、自分の家で火事を出したと考えると絶対必要だと思う。
- ・分遣所はあっても山火事などは、地理などの点で地元消防団は絶対必要な組織だと思う。
- ・人を知るためには意義がある。

多いように感じます。

鈴木 ラッパ隊は、分団とは違い、ポンプを触らない分、楽でいいと思われがちですが、実際やってみると簡単に吹けるものでもないし、個人技なので一人でも練習は可能ですが、仕事の都合を考えながらまとまって練習することは難しいです。

小池 本部長は、分団やラッパ隊とはまた違い、いわゆる裏方の立場です。大会や訓練の前の準備などがほとんどですが、日ごろやることは結構たくさんあります。

安江(美) 自身の考えですが、結局根本が忘れられているように思います。なぜ消防団がなくてはならないかということが、大きな災害が何年か起きていないため、起きては困りますが、存在が忘れられているのでは。

### 勤め先別団員数 (人)

勤め先	本 部	第一分団	第三分団	ラッパ隊	計
村 内	1 2	6 1	4 1	9	1 2 3
村 外	2	2 2	1 6	3	4 3
計	1 4	8 3	5 7	1 2	1 6 6

※注 自営業、例えば大工など村外に現場がある場合でも事業所が村内の場合は村内と数える。

(次ページへつづく)

# 魅力ある消防団に

## 一生の仲間づくり

### 場々

司会 団員の確保といった形でいろいろな問題点をお聞かせいただきましたが、消防団の魅力についてはどのようにお考えですか。

田口 私の場合、外に勤めに出るので、同級生などは別ですが少し年が離れると村内の人と接する場が少ない。消防団は多

くの人と知りあいになることができる場だと思います。

安江(秀) 私の勤めている会社の社長も団のOBということもありますが、会社での理解もあり職場内での話題にもなります。

苅田 勤務先でも、消防に入っている人がいれば話題になることもありますし、自分の場合

村外に勤めています。村外でも共通した話題となることです。

今井(孝) 私は村に縁あって来て七年、消防団にお世話になって六年になりますが、知らない土地へ来て知り合いを作るには

メリットがあると思います。

古田(雅) 自分の時間が割かれることは確かですが、それ以上に得るものがあることも確かです。

安江(肇) 団の活動は、保険のような物でお金には代えられない価値があると思います。

安江(祐) 最近、操法大会の際奥さんやお子さんが応援に来てみえる姿をよく見かけますが、これはすばらしいことだと感じています。

安江(美) ひとまわり、それ以上年齢差のある人と付き合える

ことは、いろいろな面で大きなプラスになるはず。

高井 自分も

こちらの村の住民になって六年になりましたが、この消防団にも入っていたが、若い人とも知り合うことができ本当にプラスになりました。仕事も確かに大変です。しかしそれと同様に

村での付き合いということもとても大事です。消防団はそれが作れる場であると思います。消防団へ入っても十年そこそこ長いと感じる人も中にはいると思

いますが、入ってみれば案外あつという間ではないでしょうか。確かに訓練などは違和感はあるし厳しいと感じるかもしれませんが、しかしそれ以上に得るものがある場だと思っています。

稲垣 私も一番のメリットは年の離れた人と知り合いになれることだと思っています。特に自分の場合は、会社員でなく自営業なので人と接する機会が少ない。自分が入団した時のことを考えても、青年団一消防団一壮年ソフト一ゲートボールと続くような感覚で入ったことを覚えていま



「現代に対応した形を…」と本部幹部のみなさん

## 東白川村消防団の歩み

年号	できごと(内団員数)
明治四五	● 神士平組有志による「私設東白川村消防組」発足(現消防団の前身)
昭和二	● 村全域にわたる消防組織確立(二六八)戦局が激化し、東白川消防組を改組し、東白川警防団が発足。
昭和十四	● 「消防団令」の制定によって、それまで知事と警察署長の統轄下にあった警防団を解散し、市町村が責任と権限を持った自治体消防が認められ、東白川村警防団を解散し、東白川村消防団が誕生。(二〇〇)
昭和二二	● 東白川村消防団団旗樹立
昭和二五	● 第八回岐阜県消防操法大会で自動車ポンプ準優勝 (二四〇)
昭和三四	● 第四回中部七県消防操法大会へ自動車ポンプ出場
昭和三五	● 伊勢湾台風災害時緊急出動
昭和三五	● 第九回岐阜県消防操法大会で第一分団第一ポンプ準優勝
昭和三六	● 第一〇回岐阜県消防操法大会で自動車ポンプ準優勝
昭和三六	● 第六回中部七県消防操法大会で自動車ポンプ四位
昭和四三	● 第二室戸台風災害時緊急出動
昭和四三	● 八・一七災害時緊急出動、翌年この活躍が認められ内閣総理大臣表彰を受ける (二〇〇)
昭和四三	● 第一九回岐阜県消防操法大会で



平成5年の新入団員は24名(入退団式)

消防団は、同級生や友だちと  
はまた違ったよい集団であり仲  
間だと思えます。

## これからの

### 消防団の姿

司会 いろいろお話を聞かせ  
ていただきました

たが、この会を  
通して感じるこ  
とは、特に入団  
前の若い人たち  
は、消防団の活  
動を少々誤解し  
ているのではな  
いでしょうか。

これまで話し  
ていただいた問  
題点や魅力を踏  
まえ、今後の消  
防団のあり方について考えてみ  
たいと思えます。

安江(秀) 新しいことを始める  
時は、誰でもわけがわからずと  
ても不安な状態だと思えます。  
例えば会社には一日入社がある  
ように新しく入ってもらう人  
は、活動や訓練を一部見てもら  
うような機会を作ってはどうか  
でしょうか。

安江(祐) 消防団の活動は家族  
の理解もとても大切です。来年



大成功の訓練の集大成は、万に備えての操法大会

は一本化となる年だけに、家庭  
で理解され、さらに若い人にも  
なじめるような現代に対応した  
形を考えていきたいと思えます。  
安江(寛) 新しい消防団のイメ  
ージを作っていくことが大切で  
す。そのためにも現団員一人一

人の心構えも大切  
になるでしょう。

田口 住民の皆  
さんに理解しても  
らえるようにもつ  
と活動をPRして  
いく方法を考えて  
はどうでしょうか。  
小池 地域ぐる  
みで応援してもら  
うためにもイメー  
ジアップは第一に  
考えねばならない

ことだと思えます。

鈴木 ずっと村に住んでいく  
以上は、万一ということを考え  
ないわけにはいきません。なぜ  
消防団があるかを若い人にも  
つと理解して欲しいと思えます。

今井(義) 仕事との関連からい  
えば、現在工事を進めている簡  
易水道の給水が始まると消火栓  
の使用も同時に始まります。消  
火栓の取り扱いなどは消防団が  
地域での指導的立場として活動

する場ができると思えます。

荻田 若い人たちに消防団の  
活動が変わってきたことを理解  
してもらうため、若い人たちと  
本音で話し合える場を考えてい  
くことが大切だと思えます。

稲垣 団の活動で自分自身も  
変えることができれば変えて欲  
しい点はいくつかあります。例  
えば、日曜日の訓練は極力少な  
くし、平日の夜間を使うように  
してはどうでしょうか。ただでさ  
え行事の多い日曜日ですから空  
いた時は、自分の時間として  
家族サービスに使ったりできれ  
ば若い世代からも理解してもら  
えるのではないのでしょうか。

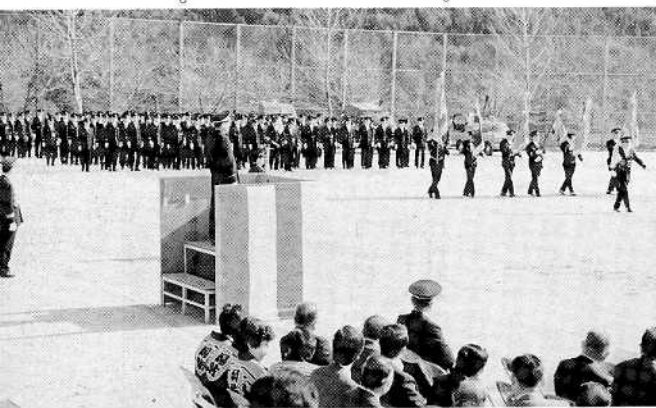
中島 いろ

いろ話を聞いて  
いて取り組  
み方について  
改めねばなら  
ない必要性を  
感じています。  
しかし先輩  
方が築いた大  
切なものを後  
輩に伝えてい  
くこともとて  
も大切なこと  
だと思えます。  
また、スポー

ツをやる時に練習が  
必要なと同様に操  
法や消火活動には訓  
練が必要です。しか  
も団の活動はいつも  
危険と背中合わせの  
状態です。

これからは、若い  
人の意見も聞きなが  
らどついた形態が  
一番良いのかを検討  
して取り組んでいき  
たいと思えます。

司会 本日はあり  
がとうございました。  
今後の団の発展に  
期待しています。

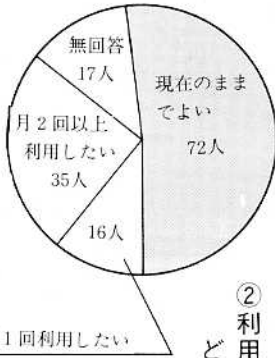


昭和四八	第一分団第一ポンプ取調賞 ●第二回岐阜県消防操法大会で 第一分団自動車ポンプ準優勝
昭和四九	●第三回岐阜県消防操法大会へ 第三分団第十二ポンプ出場
昭和五〇	●第二回岐阜県消防操法大会で 第一分団自動車ポンプ三位 ●ラッパ隊編成
昭和五一	●第二六回岐阜県消防操法大会で 第一分団自動車ポンプ三位
昭和五二	●第二七回岐阜県消防操法大会へ 第三分団第十一ポンプ出場
昭和五三	●第二八回岐阜県消防操法大会へ 第一分団自動車ポンプ出場
昭和五四	●第三〇回岐阜県消防操法大会へ 第一分団自動車ポンプ出場(二五)
昭和五五	●可茂消防事務組合東消防署の東 白川分遣所開設
昭和五六	●第三二回岐阜県消防操法大会で 第一分団自動車ポンプ優勝
昭和五七	●第三三回岐阜県消防操法大会へ 第一分団第一ポンプ出場
昭和五八	●第九回全国消防操法大会で第一 分団自動車ポンプ取調賞
昭和五九	●第三五回岐阜県消防操法大会で 第二分団第十四ポンプ取調賞
昭和六一	●団の功績が認められ日本消防協 会より「まとい」を受与(一八八)
昭和六三	●第三七回岐阜県消防操法大会へ 第一分団第四ポンプ出場(一八九)
平成元	●第三八回岐阜県消防操法大会へ 第三分団自動車ポンプ出場(二八)

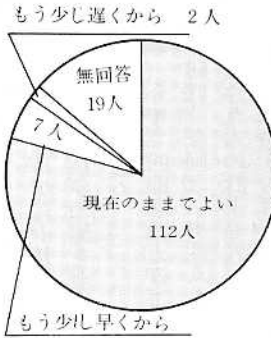


# 利用者アンケート結果

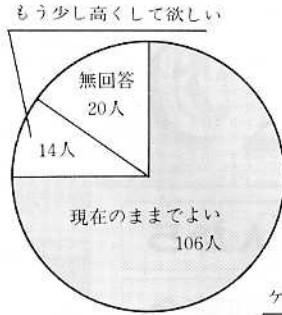
① 利用回数は  
どうですか？



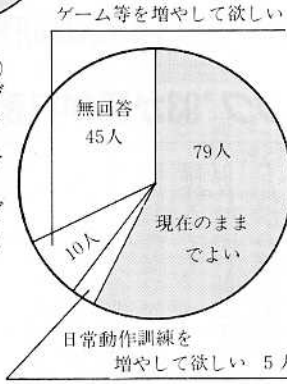
② 利用時間は  
どうですか？



③ 利用料は  
どうですか？



④ デイ・サービスの  
内容はどうですか？



また答えた人は、百六人と全体の七十五割を占めました。(グラフ③参照)。また、「利用料が高すぎる」との答えは一人もなく、逆に「もっと高くても良い」という答えは十四人あり、こうした考えの人の意見は「これだけ良くしてもらっているのだからもう少し高くても良いのでは」というものです。

## デイ・サービスの内容は？

利用回数・時間・料金について見てきましたが、肝心のデイ・サービス内容についてはどうでしょう。グラフ④で示したように、「現在のまま」と答えた人が七十九人と半数以上を占めたものの、日常動作訓練やゲーム等を増やして欲しいという意見もわずかながらあり、今後の検討課題といえるでしょう。

このほか、グラフは掲載しませんでしたが入浴について、食事の味、量についてなどの質問に対しては、「今のままで満足」との答えがともに九〇割以上、また月一回行われる誕生会についても「現在のまま」という意見が大半を占めました。

せせらぎ荘「満一歳」を契機に実施された今回のアンケート。大半が現在の内容に満足されており、好結果といえますが、回数や内容の面など今後改善すべき点も残っており、こうした点を踏まえ、全員の利用者に満足いただけることを目指して、せせらぎ荘は二年目に入りました。

## こんな声もありました。

【利用者より】

今回せせらぎ荘が行ったアンケートの最後にあったせせらぎ荘に対する感想を記入する欄には、利用者や家庭介護者からさまざまな「声」が寄せられました。ここでは、そのほんの一部を紹介したいと思います。

・ 毎回楽しみにして来ます。

次の利用日が来る日を楽しみに待っております。

・ 職員の方にはいつもご親切にしていただきありがとうございます。

・ 短期間でいいですが講話など良いお話を聞く機会が欲しい。

・ 他人を世話することは本当に大変なことなのに、いつも変わらぬ笑顔のお世話ありがとうございます。

・ 健康状態も一応知ることができ安心です。

・ 送迎の車の都合もあるのですが、無理な注文とは思いますが、同輩の集いを考えて欲しい。

・ 組み合わせは大変でしょうが、違った集落の人と一緒できれば一層楽しくなるのでは。

【介護者より】

・ おばあさんの体が大変良くなり嬉しく思っています。

・ 職員の皆さんが一生懸命お世話下さり本当にありがたく感謝しております。せせらぎ荘へ行くのが楽しみのようです。

このごろ食欲も出てきたみたい

です。

・ このごろご飯を持っていてもなかなか手をつけて下さいません。そちらの献立がどんな風か教えてもらうことはできないものでしょうか。

・ 私どもがいつも一緒にいられればいいのですが、せせらぎ荘には本当に感謝しています。

おやつ時間はみんなで合唱



# で実感村づくり

就職後一年経過した人から

この春就職した人までの研修会

フレッシュパック'93が開かれました



「電話の応待もけっこう大変だ…」

こもればの館で  
一泊百

# 声

長い人で一年余、短い人で数か月、新しい職場に就いてそろそろ仕事にもその雰囲気にもすっかり慣れた若いみなさんを対象にした研修会、新規就業者研修「フレッシュパック'93」が、六月十八日から十九日に行われ、こもればの館を会場に行われました。

今年で四回を数えるこの研修、今回は、男性八人、女性九人の計十七人。

そのうち村に住んで村外へ勤める人が五人、また村外の人で村に勤めている人が四人あり、この点から見ても村の今の若い人たちの就業形態が推察できそうな研修会です。

十八日午前九時にこもればの館へ集まった一行は、研修会の趣旨説明や自己紹介など一通りのオリエンテーションを済ませた後、十時三十分から一時間に行われたり、桂川真郷村長

へ来てまだわずかなので、この研修に参加して知り合いを作れたことが良かった。

栗本美和子（柏本・白川観光開発勤務）いつも使うものなのでNTTの応待セミナーはとても参考になった。

安江 賢（柏本・JAみのかも白川支店勤務）

これからの高齢化社会を考えるとせせらぎ荘は絶対必要な施設だと思う。お年寄りも安心して暮らせるのではないのでしょうか。

瀬木 恵子（加子母村・島崎電機勤務）若いばかりで圧倒されそうでしたが、参加できて良かったと思います。東白川は本当に元気のある村だと感じました。

榊間 昭二（白川町・ふるさと企画）年齢も職場も違う知らない者通しがこうした研修で知り合えることは本当に意義があると思う。こうした若い人が集まれる場所や機会が必要ではないのでしょうか。



## 『私、こう思った!』

渡辺 敦志（下親田・中菱工機テクニカ勤務）村がだんだん良くなってきていると感じました。現在中津川市まで通勤していますが、もっと道路が整備されれば、村に住む若者が増えるのではないのでしょうか。

古田 伸江（黒淵・ふるさと企画勤務）

若い人の定住には、例えば身につけた技術や資格を生かせる広い職種の職場があれば良いと思います。



山田 功（黒淵・岐阜部品勤務）家を継ぐため去年10月Uターン。いろいろな施設を見て村づくりに積極性を感じました。

今井 愛子（大沢・五加保育園勤務）村が夢のある取り組み方をしていることは感じましたが、自然を残すことにも目を向けて欲しい。

田口 紳一（神付・役場勤務）村内巡りが一番楽しかった。至る所で道路整備が進められていたのには驚いた。

佐々木英雄（中通・役場勤務）東白川

による「東白川村の姿と二十一世紀への展望」と題した講義を受講。こもればの間の畳の上での聴講は、いすに座り慣れている若い世代にとって少々窮屈そうでしたが、熱心にメモを取る姿も見られ、村の取り組み方

には興味が集まったようです。

## 日頃の対応をよび返す 「電話応待セミナー」

職場もさまざまなら年齢もまちまちという参加者だけに「今日初めて会った」という人も中にはあったようですが、そこは若い世代、昼食が終わるころに

は、すっかり打ち解けた様子。

午後から最初の研修は、参加者の間で好評となった「電話応待セミナー」。講師としてお越しいただいた㈱NTTテレメイトの梅田明子先生指導のもと基本的な電話応待の言葉使いや敬語の使い方、実際に電話を使っ



# フレッシュパック '93 全日程

9:30 六月十八日(金) 講義  
 題 「東白川村の姿と二十世紀への展望」  
 一世紀への展望」  
 応待セミナー  
 ・電話の重要性・基本応待  
 ・ロールプレイング  
 14:40 村内視察  
 ハナノキ会館建設現場↓ブ  
 レカット工場↓岐阜部品工場  
 ↓ログハウスどりーむ↓味の  
 館↓大明神水源地↓せせらぎ  
 荘↓つちのこ館  
 18:00 会食  
 ・長寿膳の試食  
 六月十九日(土)  
 反省会・閉講式・解散

## 若者が肌



ブレカット工場で説明をうける参加者

ての練習(ロールプレイング)に至るまで二時間にわたる研修となりました。

「言葉使いや話し方がとても参考になった」(山田功さん・岐阜部品勤務)「自己啓発のための勉強になりました」(安江知子さん・役場勤務)など「電話」という参加者のほとんどが毎日使うものだけにこの研修は、大きな成果があったようです。

### 知らなかつた……

### 「あの道」「こんな施設」

フレッシュパックの中で毎回目玉となっている研修は、何といても村内めぐりです。

現在、村はさまざまな面で整備が進められています。子どもが変わっている、それを肌で感じる研修ではないでしょうか。コースについては、上の日程表のとおりですが、今回の参加者も予想どおり「前を通ることはあっても中へ入るのは初めて……」という人がほとんど。

わずか三時間という限られた時間の中、天候も小雨交じりということもあり水源地などはバスから降りて見ることはできま

せていたが、「初めて通る道」「初めて見る施設」など生まれ育ったふるさとの変貌ぶりにはびっくりしようてん。中でも「味の館」や「せせらぎ荘」などの設備の充実ぶりには高い関心が集まったようです。

### 長寿膳を食べた夜は、大いに盛り上がった

村内めぐりを終えこもれびの館へ戻った参加者たち、まる一日みっちり組まれた研修をこなし頭の中は満腹になりましたが、お腹の方はべこべこ。

この日の夕食は、今や村内外で話題沸騰中の、ふるさと長寿膳でした。ふるさと企画の社員を除けばもちろん初めて口にする人ばかり。この日のメニューは、あまごの塩焼き、山菜の天ぷら、鯉の赤煮、さしみコンニャク、地鳥のおさしみ、麦ごはん、にごみ……といったいわゆる初夏バージョン。

「村内ならこの食卓にも並びそうなものばかり



りだけど、町の人にはうけそうですね」とグルメ志向の若者たちの間でも合格点をたたいたようです。

この日の夕食会は、桂川村長をはじめ村議会から古田眞之助議長さん、安江久夫さん

のお二人にご参加をいただいた懇親会形式。参加者たちはお酒もちよびりいただいて、口も次第に滑らかになり、あちこちで話の輪は広がって、夕食会場で話し足りなかつた分は、宿泊棟まで引き継がれ、深夜まで延々と続いていたとか。

翌日、朝食を終え解散となりましたが、参加者たちは「一宿一飯をとともに過ごした仲間として何かをつかんだことでしょう」

### フレッシュマン登場

#### 村職員人事異動

七月一日付けで発令された人事により異動のあった職員及び五月、六月、七月一日付けで新採用となった職員は次のとおりです。(一)内は前所属課

#### 異動

▼ 新採用 ▲

#### 五月一日付

▲ 伊藤保夫(農務課)

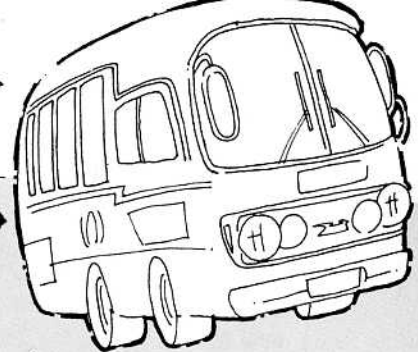
#### 六月一日付

▲ 安江比奈子(陰地)《農務課農務係》20歳

#### 七月一日付

▲ 榊間るみ(平)《東白川病院看護婦》26歳  
 ▲ 佐々木英雄(中通)《農務課管理係》29歳  
 ▲ 今井信和(神付)《林務商工課林務係》22歳

# 笑顔に乗せよう 発車木曜日



## 村内巡り事業スタート

「へえーこんな道知らなかった」「こんな施設ができたの」...。この六月から今年度の新事業「村内巡り事業」がスタートしました。現在までに六月十一日、六月二十五日、七月九日と三回にわたり実施。その中の中通、神付、中谷の村内巡りをのぞいてみました。

### 集落の集会所まで 迎えに行きます

六月二十五日の村内巡りバスは、中通、神付、中谷の皆さんの番です。この日の参加者は十九名。全て女性の方ばかりの参加となりました。

午前八時三十分、役場を出発したバスは、一路中谷のみなさんの集会所中谷バス停前へ迎えに上がりました。この事業では、集落ごとにか所か二か所の集合場所を決めていただいでそこまで迎えにいき、そこからスタートとなります。この日は、中谷バス停を経て五葉



「これは完れそうな予感...」  
在発掘調査中。文化財保護センターの各務さんが



「古代のロマンに迫る」 陰地遺跡にて

### ガイドは素人ですが 車中は遠足気分

会館、魚戸橋の順にまわり、ここからのスタートとなりました。ガイドは素人ですが、車中は遠足気分。最初の見学地は、プレカッタ工場です。この日参加した皆さんにとっては近くにある工場ですが、ご婦人ばかりということもあって初めてという人がほとんど。正確に加工されてくる材には関心が集まりました。

岐阜部品、曲坂集落、ト

## おしらせ

### アイデアいっぱい

### 「花かざり」作品募集中

花の都ぎふ・花のひがししらかわ推進協議会が主催し、行っている「花かざりコンクール」。

第一回の昨年は、個人部門に十二点、団体部門に四点の応募があり、村雲ミツ子さん(大口)、老人クラブ長寿会のみなさんがそれぞれ金賞を受賞しました。本年もこの秋の産業祭において、第二回東白川村花かざりコンクールを実施します。

立体的な花かざり、花壇による花かざり、法面を生かした花かざり等アイデアいっぱいの花壇写真をどしどしご応募下さい。

### 「応募対象」

▼個人部門 ▼団体(サークル)部門 ▼企業部門

【応募方法】 申込用紙に必要事項を記入し、写真(サービズ版)とネガを添えてご応募下さい。

【応募期間】 平成五年十一月十日まで



【申込先及び窓口】 役場総務課 行政係(有線二一三二)  
「あしたへの夢の架け橋」  
「この一票」

### 7月18日は投票日です。

七月十八日(日)は、衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査及び参議院岐阜県選挙区選出議員補欠選挙の投票日です。今回の選挙は、今後の国政を決める重要な意義を持ちます。選挙は、国民が主権者として政治に参加する最も重要な機会の一つです。この貴重な権利を放棄することなく、必ず投票に行きましょう。

投票時間は、午前七時から午後六時までです。

また、投票日に仕事、旅行などの理由で投票できない人は、投票日前日まで土曜、日曜に限らず、毎日午前八時三十分から午後五時まで、役場一階で不在者投票ができ、重度の障害を持つ方は郵便での投票もできます。





色とりどりの風船が空に舞った

六月九日、皇太子さまの結婚の儀。当日は、朝からテレビにくぎづけ、なんていう人も多かったことではないでしょうか。ご盛婚をお祝いした風船上げの行事が、九日総合運動場にて行われました。これは県庁社庁東白川部会が主催したもの。用意された約五百個の風船は、集まった百人を超すみなさんの手から大空へ放たれました。

## 行事

### ご成婚をお祝いし 大空彩る風船上げ



7/24と8月中に放映予定

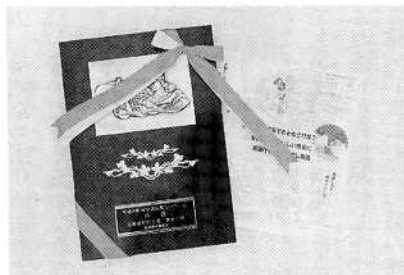
「ハイ、ここで笑ってみて下さい。」。六月十一日東海テレビの番組「おばあちゃんのおごっつお」（毎週土曜日朝十時五十分から放映）が村を訪れ、安江ちよさん（上親田）・村雲うめさん（中通）のお二人が自慢の料理を披露しました。ちよさんが「にこみ」をつめさんが「朴葉もち」を作りましたが、料理はプロでもタレント体験は初めて。次から次へ出される指示に四苦八苦でした。

## 撮影

### タレント稼業も楽じゃない おばあちゃん奮戦記

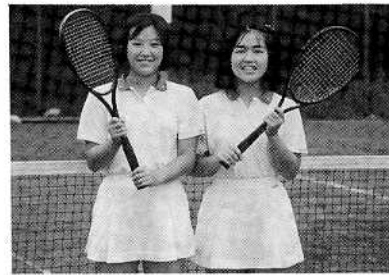
## 評価

### ほうば 朴葉ずしの特集号が 評価され二年連続県特選



アンケートでは、食改協の皆さんや中学生の皆さんにご協力いただきました。

昨年朴葉ずしを特集した広報六月号が、県広報協会の主催する平成四年度広報コンクールの広報紙の部町村II部（人口一万人未満の町村対象）で特選を受賞しました。この部門では二年連続の受賞です。これもひとえに村民の皆さんのご協力のためものです。今後より一層親しまれる広報広聴活動を進めたいと思います。



大坪佐和子さん(左)と安江ひでみさん

去る六月十三日と二十七日の二日間、岐阜市の二会場において行われた「岐阜県中学生ソフトテニス選手権大会」で東白川中学校三年生の大坪佐和子さん（上親田）と安江ひでみさん（黒淵）のダブルスペアが、準々決勝まで勝ち進むという快挙を成し遂げました。東中の長い歴史の中で軟式テニスの県レベルで、ここまで躍

## 活躍

### 東中初の快挙！大坪・安江 ペアがテニス県八強入り

進したことは初めて。

大会では、二回戦で春の新人戦団体の部優勝校の強豪日新中（海津町）ペアと対戦。熱戦の末ここを破ると準々決勝へと進出。対戦相手は、これも強豪の那加中（各務原市）ペア。ファイナルゲーム（七ゲーム）までもつれ込む大熱戦を演じました。惜しくも敗れました。

この那加中ペアが優勝しただけに「勝っていればあるいは…」との思いもあります。夏の大大会にはきつと…」と二人の思いは次の大会へ向かっています。

### 戸簀の窓—敬称略



いつまでも  
おしあわせに

今井 幸泰（大沢）  
蒲 美咲（和良村）



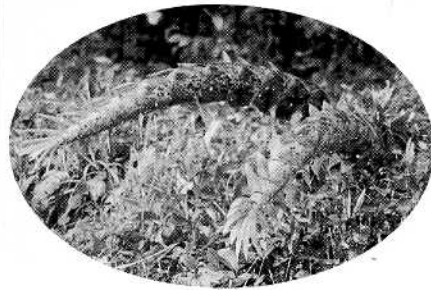
おくやみ  
申しあげます

け 安江 宇造 84歳（栃山）

■善意の寄付—敬称略  
『社会福祉協議会へ』

## 品 診

ニヨキニヨキたけのこ  
ちよつと待った、進む方向が：



並んで頭を下げているように見えませんか？

コリコリ、とした歯ざわりのたけのこのみそ和え、なんともおいしいものです。ところであけのこといえば天に向かってまっすぐ伸びるもの、と思いきや平の神戸正弥さん宅の竹やぶには一風変わったたけのこが出現。どこで成長過程を間違えたか頭を下げた状態です。白熱する選挙戦を見ながら頭の下がる思いなのかもしれません。

## 自 慢

「わたしの歯、加茂郡一になりました」

六月四日行われた、加茂地区歯の優良児審査会」で六年生の安江絵美さん（栃山）が、見事女子の部の一位に輝きました。



喜びの絵美さん

この審査会は、毎年行われるもので今年が三十四回目。「学校全体では、毎年高い評価を得ていますが、歯ならびやかみ合わせが重要視されるこの審査会での入賞は至難なわざ。本当に小さい時から家庭での食生活や指導、本人の努力の成果でしょう」と養教の西久保先生。良い歯を育てるためには、小さい時からの心がけが大切です。

## 送 別

「さようなら、そしてありがとう」  
アンドリユー先生帰米



お礼の言葉で英語を述べた安江洋さん  
生徒会長

平成三年八月から二年間にわたり東白川村と加子母村のAET（アシスタント・イングリッシュ・テイチャー）としてお越し下さっていたアンドリユー先生が、七月二十三日をもって帰国されます。小学校では、運動会やプールでおなじみ、中学校では週一回の英語指導助手として活躍。また、村内の行事にも積極的に参加され、昨年のふるさと夏まつりでは、「謎の宣教師」に扮して呼び物の五介道中に加わるなど子どもたちばかりでなく村の中でも人気者でした。

小中学校の最終授業日（小学校七月二日、中学校七月五日）には両校でそれぞれ送別会が開かれ、生徒代表によるお別れのことばや花束の贈呈、合唱など心のこもった最後のお別れとなりました。自分から望んで田舎の学校を選び、また一年間という契約期間をさらに一年延長するほど村に溶け込んだアンドリユーさん。その波及効果も特に中学校では文化祭での英語劇挑戦や英語検

りましたが、それに答えてアンドリユーさんが日本語で最後のあいさつを行いました。ここでアンドリユーさんのあいさつの一部を紹介しましょう。「全校の生徒のみなさん私はあなたがたを忘れることはないでしょう。あなたがたは私の心を開いてくれ、日本の文化と人々のことをわからせてくれました。あなた

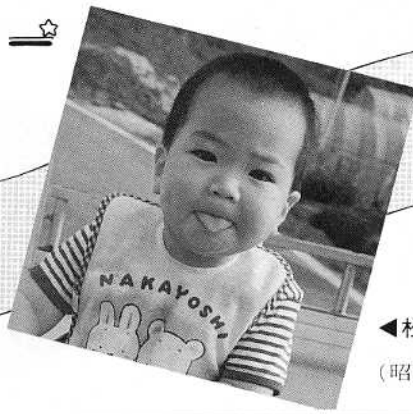
- 現金三万円 山口輝久（中谷）
- 現金五万円 長谷川萬二（大明神）
- 現金五千円 匿名
- 現金四千円 匿名
- 現金四千四百円 匿名
- （じ） 工事入札の結果
  - ①は入札期日②は落札金額
  - ①および落札業者
- （け） および落札業者
  - ▼平成五年度東白川簡易水道浄水場建設三号工事
  - ①六月二十一日②一億六千三百二十五万五千円、安田・山田・マルト・新田建設工事共同企業体

定に四十四人の生徒が自主的に受験したことに現れています。今後は、ふるさとへ帰って事業家を目指すとのこと。ここでの二年間は子どもたち同様大きな自信となったことでしょう。



小学校でお別れのあいさつ

このコーナーの子どもたちみな同い年。  
10年後、20年後「広報」をみればホラ！  
1歳のあの子の顔が……



りょうた  
◀松岡亮太くん  
(昭信さん・佐知子さん二男一陰地)

満1歳

# ふれあい広場

## 新婚さん♡

■ワン・ショット■



今井幸泰さん・美咲さん

「とにかく押しの手で」とは奥さん美咲さん。今月ご紹介するのは六月二十日結婚式を挙げた大沢の夫婦の息もヒツタリです。

「僕が守ってやらないと……」というご主人に「頼りがいのある人なんです」とは、奥さん。

「静かな所が和良とそっくり」と東白川の印象をふるさととダブらせて話してくれました。

和良村ご出身の奥さんは「静かな所が和良とそっくり」と東白川の印象をふるさととダブらせて話してくれました。

子どもは最初が女で三人から五人希望とか。まさに幸せ二人じめといったご夫婦です。

この写真は引きのぼしてお二人に進呈します。

## ふるさと道具の生活史

15

### ▽桶(おけ)

青梅が店先に並んでいたのがついこの間。その梅が塩漬けにされて、まだ充分に漬け切らないのをカリカリと食べる美味しさは格別です。

さて、梅漬けに限らず漬物には桶が必要ですが、桶という言葉は辞典で見ると「板を組み合せて、たがでしめた円筒形のいれもの」と書いてあります。

たしかに桶というものはそういうものでした。

水に強い・かさまきなどの材を使い、丸味をもたせた板を何枚も削り、円筒形に組み立てます。その円筒をしつかり締めつけるのが竹で作ったたがです。

円筒形といっても正確には下より上が少し開いており、たがは円周の小さい方から大きい方へ向けてきつく締め付けますから、めったなことでは外れませんが、長く使わないと板が乾燥してすき間ができ、たがが外れて桶は分解してしまいます。



「たがが外れた」という言葉はこの事を言いますが、何に付けても合成樹脂全盛の現代ではたがの外れる桶など見る事もできないようになりました。

桶は木でできているから木偏の字です。それではプラスチックの桶のようないれものは何と呼ぶのでしょうか。やっぱり桶と呼ぶのなら、そろそろ辞典の説明を変える時が来ているかも知れません。

ところで木の桶で漬けたものとプラスチックでは漬物の味は違うでしょうか。近ごろは桶というより簡単な漬け物器ができて、浅漬けの類はこれで充分でしょうが、梅漬けともなれば、自然に呼吸をし水分も少しづつ蒸発しながら、三年も五年も十年も掛けてじっくりと漬け込むことのできる、木の桶に優るものはないように思われます。



### 東京からの便り

東京東白川クラブ  
会長 安江富士夫

東白川村の皆様こんにちは  
私達東京東白川クラブ

は総勢九十名  
東白川村出身者で

東京を中心に関東  
近県に在住し

「好きです東白  
川村」を合言

業に村との交流、会  
員相互の親ほくを目的とした

とても明るい仲間の集りです  
東白川クラブの歩みを紹介し、

ます。今から三八年前故安江



▲ 今井 弘明くん  
（今井正英さん・美鈴さん長男一平）



安江とよ子さん撮影



「あんまりたくさん花をつけ  
たので記念に写真を撮ったんで  
すよ」と広報に届いたクジャク  
サボテンの花の写真。その数な  
んと八十五個。大明神の安江庄  
三さん宅で映  
きました。

こんなたく  
くさんの花を  
一度につけた  
ことは初めて  
とのこと。  
鮮やかなピ  
ンク色で大輪  
の花です。

賢太郎先生（日向出身お医者さ  
ん）を中心に故安江時三様他十  
数名で発足し、会長は故安江時  
三様、故渡辺海兵様、田口亥郎様  
と受け継がれ今年度より不肖私  
へと引継がれて参りました。昭  
和五九年に東白川中学同窓会  
（関東地区出席五二名）を開き  
その後東京村人会と同窓会合同  
で現在の東白川クラブとなりま  
した。去る六月六日には上野に  
於て第三八回の総会を開き会員  
二七名、来賓東白川村から六名、  
中京村人会二名計三十五名にて盛  
大に和やかに行われました。行  
事の一環として来る八月のお盆

に里帰り交流会と村内見学を予  
定しています。関係の方には何  
かとお世話になります。何とぞ  
よろしく願います。何時  
も変わぬ緑と白川の清流、村の  
人の暖かい心、そして毎年立派  
になる田や畑の整備や農道、村  
道、県道、東白川村関連施設等、  
今年も見学が楽しみです。

村の皆様がお願いですが、若  
い仲間の輪を広げたいと思っ  
ております。上京されている若い  
方で東白川クラブの存在を知ら  
ない方がおいででしたら役場経  
由でご連絡下さい。皆様のご健  
康と村のご発展を祈ります。

## お話を きかせて ください

### 記ある訪老人独居

してくれたフジノさんの  
楽しみは、小谷の回りま  
で遊びに行くことです。  
もちろん出掛けるときは  
歩きばかりとのこと。  
「小谷の回りにやつれが  
たくさんおるもんで、月

「家が道すじにあるもんで、  
毎日のように通っていく人が寄  
つてくれたり声をかけておくれ  
るで寂しいことありませんよ」  
今月お尋ねしたのは栃山の安  
江フジノさん、フジノさんは、  
明治四十年のお生まれで今年八  
十六歳になります。

に、二度は遊びに行きます…。  
このころは道が良くなったこと  
もあって車がたくさん通るしお  
そがいときもあるけど、それで  
も行けば楽しいし、帰りはえら  
いけどよく車に乗せてもらっ  
りするのでありがたいです」。  
足、腰が丈夫なフジノさんに  
とっては「お出掛け」が一  
番の健康づくりであり、楽しみ  
ですが、せせらぎ荘へ行くこと  
もまた大きな楽しみの一つのよ  
うです。「送り迎えしてもらえ  
るし、食事は据え膳でいうこと  
ないです」と嬉しそうに話して  
くれました。

畑へ行くことが大切な日課です。  
「近くにちよこつと畑がある  
もんで、そこで全く食う分だけ  
ですが、ジャガイモや、ネギな  
ど野菜を作ってます。毎日行っ  
て何をするわけじゃないけれど  
見にいって、今日はこんだけ大  
きくなった」今日初  
めて芽をだいた。と見て  
まわることが楽しみでね  
え。それに足の運動にも  
なるし。と、たとえ  
雨降りであっても一回は  
必ず出掛けていくとか。  
「目が少々悪い程度で  
いたって健康です」と話



安江フジノさん（栃山）

# わたしの作品



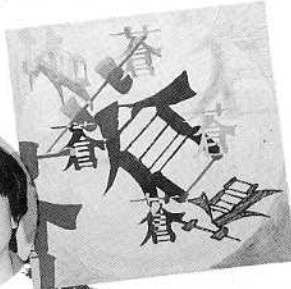
▲「レタリング」  
東白川中学校1年生  
安江章恵さん（大明神）



▲「歯をみがこう」  
東白川小学校3年生  
今井 健さん（平）



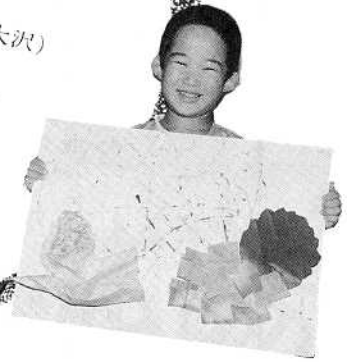
「ひこうき」  
五加保育園  
いまいたかひとくん（大沢）



▲「レタリング」  
東白川中学校1年生  
五十川美奈さん（久須見）



▲「歯をみがこう」  
東白川小学校1年生  
安江尚也さん（黒瀬）



▲「あじさいとかたつむり」  
五加保育園  
いまいこうたくん（大沢）

## 広報文芸

### 俳句

- 遠花火今夜が山と医師言ふ  
神域の葉桜招く戦友の会  
カーネーション知らず明治の母なりし  
山鳩の声がはげます茶摘畑  
仰ぎ見る御嶽ようやく春霞  
幼き日の想い出なつかし酸いすい葉  
初孫の産声高くやよいかな  
そよ風に校庭の葉桜舞い初める  
土くれに言葉かけつ、花植える  
慰霊塔移せし山の若桜  
祖父母学級笹百合一輪手折りゆく  
テレビを見て  
パレードの笑顔へ夏日やわらかし  
グラウンドにて  
風船と歓声吸い込む夏の天
- 安江一 滴水（日向）  
安江 市助（栃山）  
新田 義男（加舎尾）  
桂川 喜郎（栃山）  
安江 武子（平）  
今井 統子（平）  
今井 桂子（平）  
河田あや子（西洞）  
河田 清美（曲坂）  
田口 秋映（日向）  
村雲みか子（中通）  
安江すみよ（平）  
河田 重喜（西洞）

### 狂俳

- しなやか 窓のすだれに風遊ぶ  
ひねもす 打ち寄す春の波うとい  
○ひねもす 老の生斐斐草を引く  
しなやか 社頭に稚児の扇舞う  
娘盛り テニスコートに花が咲く  
しなやか 玉三郎つて男かな  
娘盛り プスでもそれなり美しい  
ひねもす ゲートボールの声高い  
しなやか シルクドレスでタンゴ舞う
- 桂川 喜郎（栃山）  
田口 秋映（日向）  
安江すみよ（平）  
桂川 喜郎（栃山）  
田口 秋映（日向）  
安江すみよ（平）  
今井 統子（平）  
田口 秋映（日向）  
今井 統子（平）
- 清流軒久永
- あなたも俳句・狂俳に挑戦してみませんか。あなたの作品をお待ちしています。投稿は奇数月の二十日までに、俳句は西洞河田重喜宛、狂俳は陰地安江永吉宛までお寄せ下さい。なお、今回の狂俳の題は「あいつ」「少しづつ」「味けない」です。



青葉薫る  
都大路を風  
を切つて快  
適に走って  
いるバスの

中で、私は小学生時代の修学旅行を思い出していた。京都に行けることを楽しみに満席の汽車で立ち続けていた苦痛な旅でした。耐える中から楽しみを感じとつたような気がする。▼バスに乗るとすぐに菓子の包み紙を開こうとする子供がいる。皆が楽しみにしていた修学旅行だけに集団を意識できないこの行為に担任の怒りが爆発した。▼宿での楽しみは、部屋でみんなとわいわい騒ぎながら寝ることで。ある部屋を尋ねたとき、スリッパを黙々と整頓している子供に出会い、私は清々しい気分が励まされていた。▼旅行は私たちが開放的な気持ちにしてくれると同時に、日頃の言動がどこかに頭をもたげてきて楽しい気分になりきれないことがある。あの時、部屋のスリッパを整頓していた子供のように自然体で行動していても周りの人に爽やかな風が送れるようになりたい。